支援の輪を広げる

認知症サポーター養成講座

認知症の人を家族とは違う立場から支える認知症サポーター。大学生の皆さんにも認知症サポーターになってもらおうと東海学園大学で6月29日と7月1日・2日の3日間、1年生およそ250人を対象とした認知症サポーター養成講座が行われました。講座では、市高齢福祉課の近藤隆彦（こんどうたかひこ）保健師が講師を務め、認知症の人とのコミュニケーションの取り方などを説明。学生たちは熱心にメモを取りながら、話に聞き入っていました。

一漕ぎに気持ちを込めて

第20回市民カヌー大会、第26回中学校対抗カヌー大会

カヌー競技の普及と競技力の向上を目的に7月5日、三好池カヌー競技場で第20回市民カヌー大会と第26回中学校対抗カヌー大会が行われました。今年は両大会に合わせて150人の選手が参加。開会式では、選手を代表して南中学校の廣瀬凱（ひろせがい）くんが「最後まで諦めず、全力で漕ぎ切ることを誓います」と力強く選手宣誓をしました。その後、選手たちはそれぞれの種目に分かれて、ゴールを目指してパドルを漕いでいました。

地域との交流を深める

安立荘サマーフェスタ2015

特別養護老人ホームについて知ってもらうとともに地域の人たちとの交流を深めようと7月4日、安立荘サマーフェスタが特別養護老人ホーム安立荘で開催されました。会場には、地元打越町のとりめしや綿あめなどのグルメコーナーが設けられ、購入したチケットを手に、たくさんの人が列を作っていました。また、建物の中では回想法の体験や骨密度の測定、バザーなどのさまざまな催しが行われ、来場者は大いに楽しんでいました。

日本家屋でお茶を楽しむ

七夕茶会

文化協会主催による初めての七夕茶会が7月5日、石川家住宅で開かれました。市民の皆さんに気軽にお茶を楽しんでもらおうと行われている市民茶会の一つとして開催されたこの行事。当日は、子どもから大人まで幅広い年代の人が会場を訪れました。今回、席主を務めた近藤宗隆さんは、お茶の作法についての説明をしたり、茶器や掛け軸についての質問に気軽に答えたりするなど、来場した皆さんを笑顔でもてなしていました。

学校生活の思い出に

小中学生思い出コンサート

オーケストラの生演奏を聴くことで、その感動を学校生活の思い出の一つにしてもらおうと7月8日、サンアートで小中学生思い出コンサートが行われました。市内の小学6年生と中学3年生が招待され、海外でも活躍する松尾葉子さんを指揮者として迎えた愛知県立芸術大学管弦楽団の皆さんの迫力ある演奏を鑑賞しました。また、曲の合間には演奏に使われる楽器の紹介もあり、子どもたちは大いに楽しんでいました。

老人クラブからの贈り物

ぞうきん･タオル贈呈式

老人クラブ連合会女性部会が中心となり、たくさんの人の協力によって集められたぞうきんとタオルを市内の福祉施設で役立ててもらおうと7月3日、ぞうきん・タオル贈呈式が福祉センターで行われました。今年はぞうきん・タオル合わせて4、299枚が贈られると、施設を代表して三好老人保健施設の石田悦美さんが「今日頂いたタオルやぞうきんを、施設の環境美化に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。